

福島市中心市街地活性化基本計画 新旧対照表 (傍線赤文字部分は変更箇所)

変 更 後														変 更 前													
1. 中心市街地の活性化に関する基本的な方針 (1) 略 (2) 地域の現状に関する統計的なデータの把握・分析 ①略 ②経済活力関係 略 ○中心市街地に存在するその他の産業関係 略 <観光施設・主なイベント入込客数>														1. 中心市街地の活性化に関する基本的な方針 (1) 略 (2) 地域の現状に関する統計的なデータの把握・分析 ①略 ②経済活力関係 略 ○中心市街地に存在するその他の産業関係 略 <観光施設・主なイベント入込客数>													
<b>&lt;観光施設・主なイベント入込客数&gt;</b>														<b>&lt;観光施設・主なイベント入込客数&gt;</b>													
単位：人														単位：人													
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	備考		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	備考
<b>中心市街地</b>														<b>市中心部</b>													
施設	福島県観光物産館	287,631	291,475	283,771	244,826	101,363	117,977	103,624	133,382	96,625	133,195	221,130	282,868	施設	福島県観光物産館	287,631	291,475	283,771	244,826	101,363	117,977	103,624	133,382	96,625	133,195	221,130	282,868
	福島わらじまつり	270,000	260,000	280,000	230,000	250,000	240,000	250,000	255,000	255,000	280,000	293,000	302,000	イベント	福島わらじまつり	270,000	260,000	280,000	230,000	250,000	240,000	250,000	255,000	255,000	280,000	293,000	302,000
	ふくしま花火大会	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000	※	160,000	180,000	180,000	170,000	180,000	180,000		ふくしま花火大会	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000	※	160,000	180,000	180,000	180,000	180,000	
イベント	イルミネーション	590,000	532,000	523,000	538,000	538,000	157,857	182,869	207,522	179,506	193,204	185,854	164,261		イルミネーション	590,000	532,000	523,000	538,000	538,000	157,857	182,869	207,522	179,506	193,204	185,854	164,261
	山車フェスタ	20,000	30,000	40,000	※	250,000	※	15,000	25,000	20,000	30,000	25,000	60,000		山車フェスタ	20,000	30,000	40,000	※	250,000	※	15,000	25,000	20,000	30,000	25,000	60,000
	稲荷神社例大祭(連山車)	130,000	130,000	110,000	140,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	90,000		稲荷神社例大祭(連山車)	130,000	130,000	110,000	140,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	90,000
	小計	1,190,000	1,132,000	1,133,000	1,088,000	1,368,000	547,857	757,869	817,522	784,506	823,204	833,854	796,261		小計	1,190,000	1,132,000	1,133,000	1,088,000	1,143,000	547,857	757,869	817,522	784,506	823,204	833,854	796,261
	合計	1,477,631	1,423,475	1,416,771	1,332,826	1,469,363	665,834	861,493	950,904	881,131	956,399	1,054,984	1,079,129		合計	1,477,631	1,423,475	1,416,771	1,332,826	1,244,363	1,213,691	1,619,362	1,768,426	1,665,637	1,779,603	1,888,838	1,875,390
<b>中心市街地外</b>														<b>市中心部外</b>													
施設	あづま総合運動公園	1,597,077	1,397,398	1,415,913	1,139,247	1,807,716	1,555,132	1,693,678	1,865,511	1,769,579	1,978,922	1,793,577	1,670,146	施設	あづま総合運動公園	1,597,077	1,397,398	1,415,913	1,139,247	1,807,716	1,555,132	1,693,678	1,865,511	1,769,579	1,978,922	1,793,577	1,670,146
	四季の里	473,915	457,788	439,541	248,662	316,318	327,327	328,160	345,299	334,154	313,373	314,181	277,875		四季の里	473,915	457,788	439,541	248,662	316,318	327,327	328,160	345,299	334,154	313,373	314,181	277,875
	アンナガーデン	342,803	335,755	335,764	298,622	300,427	297,634	295,749	316,066	257,239	276,524	248,612	249,947		アンナガーデン	342,803	335,755	335,764	298,622	300,427	297,634	295,749	316,066	257,239	276,524	248,612	249,947
	磐梯吾妻スカイライン	548,516	573,718	590,013	735,638	920,798	904,051	809,443	557,101	644,744	806,327	466,362	210,215		磐梯吾妻スカイライン	548,516	573,718	590,013	735,638	920,798	904,051	809,443	557,101	644,744	806,327	466,362	210,215
	花見山	260,000	287,000	338,000	101,000	101,000	245,000	270,000	265,900	254,000	238,600	189,400	248,200		花見山	260,000	287,000	338,000	101,000	101,000	245,000	270,000	265,900	254,000	238,600	189,400	248,200
	小計	3,222,311	3,051,659	3,119,231	2,523,169	3,446,259	3,329,144	3,397,030	3,349,877	3,259,716	3,613,746	3,012,132	2,656,383		小計	3,222,311	3,051,659	3,119,231	2,523,169	3,446,259	3,329,144	3,397,030	3,349,877	3,259,716	3,613,746	3,012,132	2,656,383
温泉	飯坂温泉	887,304	819,448	811,848	948,276	856,231	918,147	956,695	924,634	874,479	854,397	823,394	767,434	温泉	飯坂温泉	887,304	819,448	811,848	948,276	856,231	918,147	956,695	924,634	874,479	854,397	823,394	767,434
	土湯温泉	477,201	461,324	416,283	296,918	227,728	247,865	260,422	274,388	261,054	253,777	283,800	264,194		土湯温泉	477,201	461,324	416,283	296,918	227,728	247,865	260,422	274,388	261,054	253,777	283,800	264,194
	高湯温泉	201,691	212,855	208,013	151,091	180,424	179,758	175,584	170,072	158,814	175,455	159,349	164,730		高湯温泉	201,691	212,855	208,013	151,091	180,424	179,758	175,584	170,072	158,814	175,455	159,349	164,730
	小計	1,566,196	1,493,627	1,436,144	1,396,285	1,264,383	1,345,770	1,392,701	1,369,094	1,294,347	1,283,629	1,266,543	1,196,358		小計	1,566,196	1,493,627	1,436,144	1,396,285	1,264,383	1,345,770	1,392,701	1,369,094	1,294,347	1,283,629	1,266,543	1,196,358
	合計	4,788,507	4,545,286	4,555,375	3,919,454	4,710,642	4,674,914	4,789,731	4,718,971	4,554,063	4,897,375	4,278,675	3,852,741		合計	4,788,507	4,545,286	4,555,375	3,919,454	4,710,642	4,674,914	4,789,731	4,718,971	4,554,063	4,897,375	4,278,675	3,852,741
略														略													
○都市機能関係														○都市機能関係													
略														略													

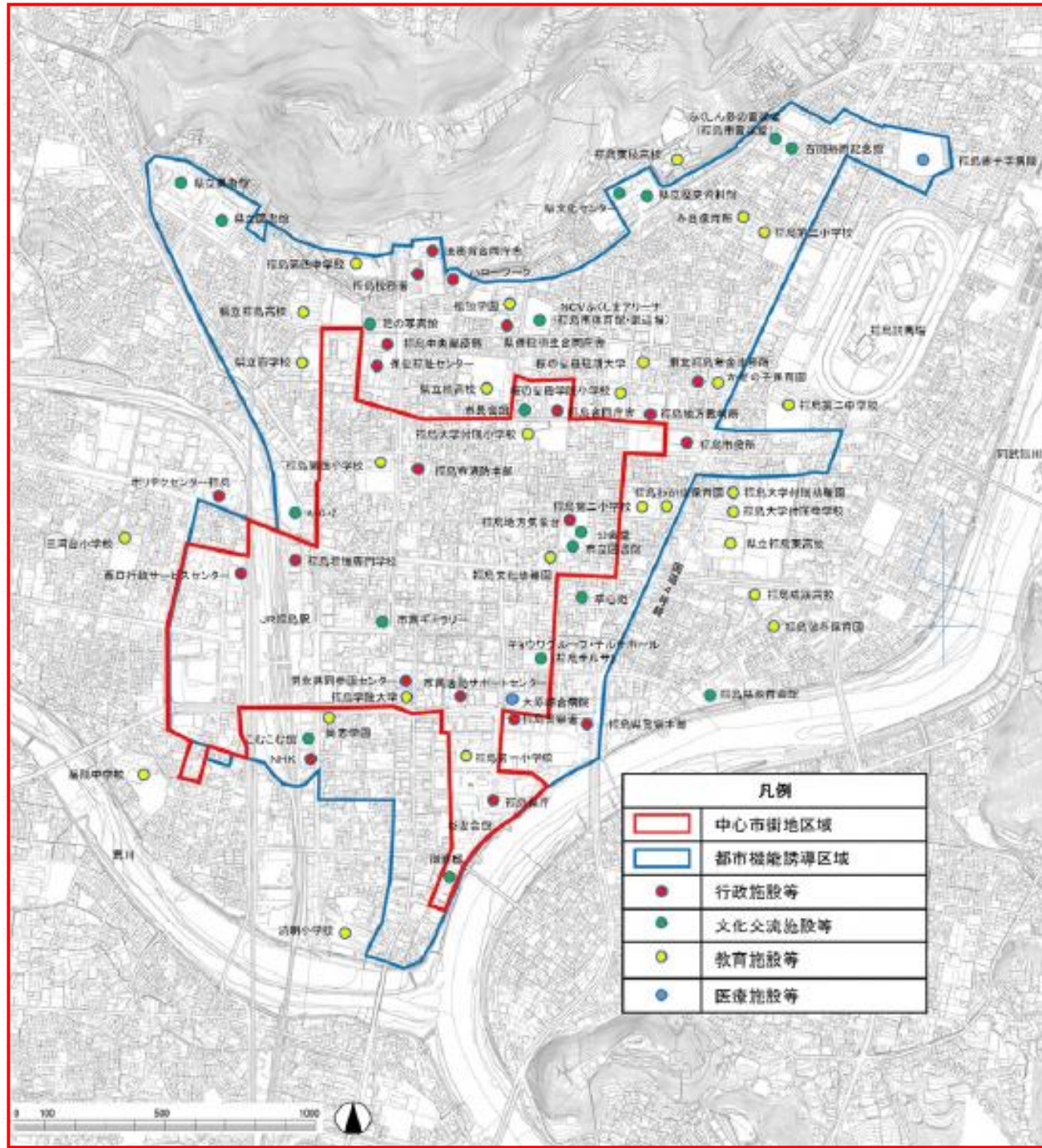


【公共・公益施設】

略

< 公共公益施設位置図 >

< 公共公益施設位置図 >

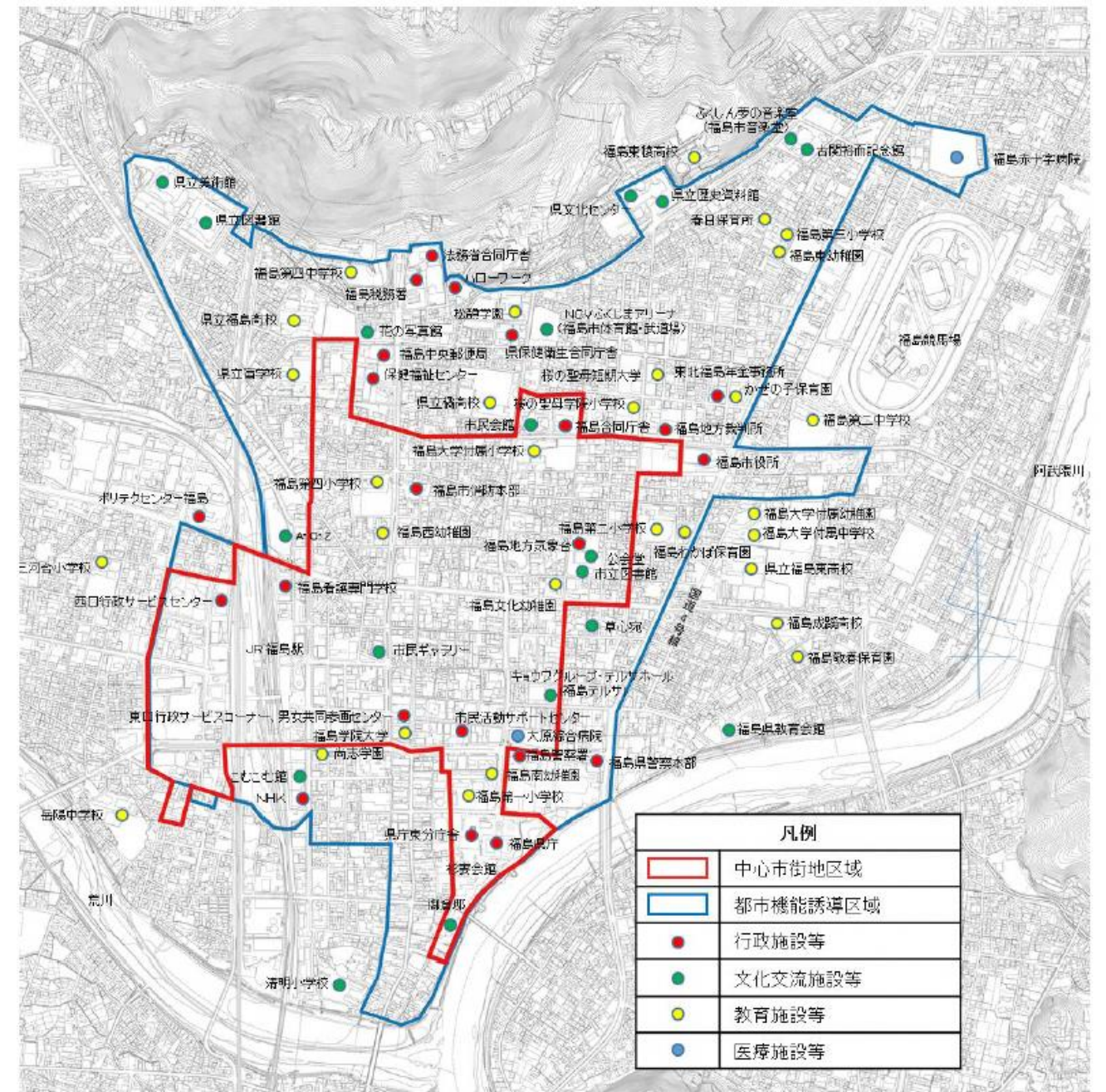


【公共・公益施設】

略

< 公共公益施設位置図 >

< 公共公益施設位置図 >





(3) 地域住民ニーズ等の把握・分析

略

②「福島市中心市街地活性化に向けたアンケート調査結果（令和元年8月）」（福島市）

略

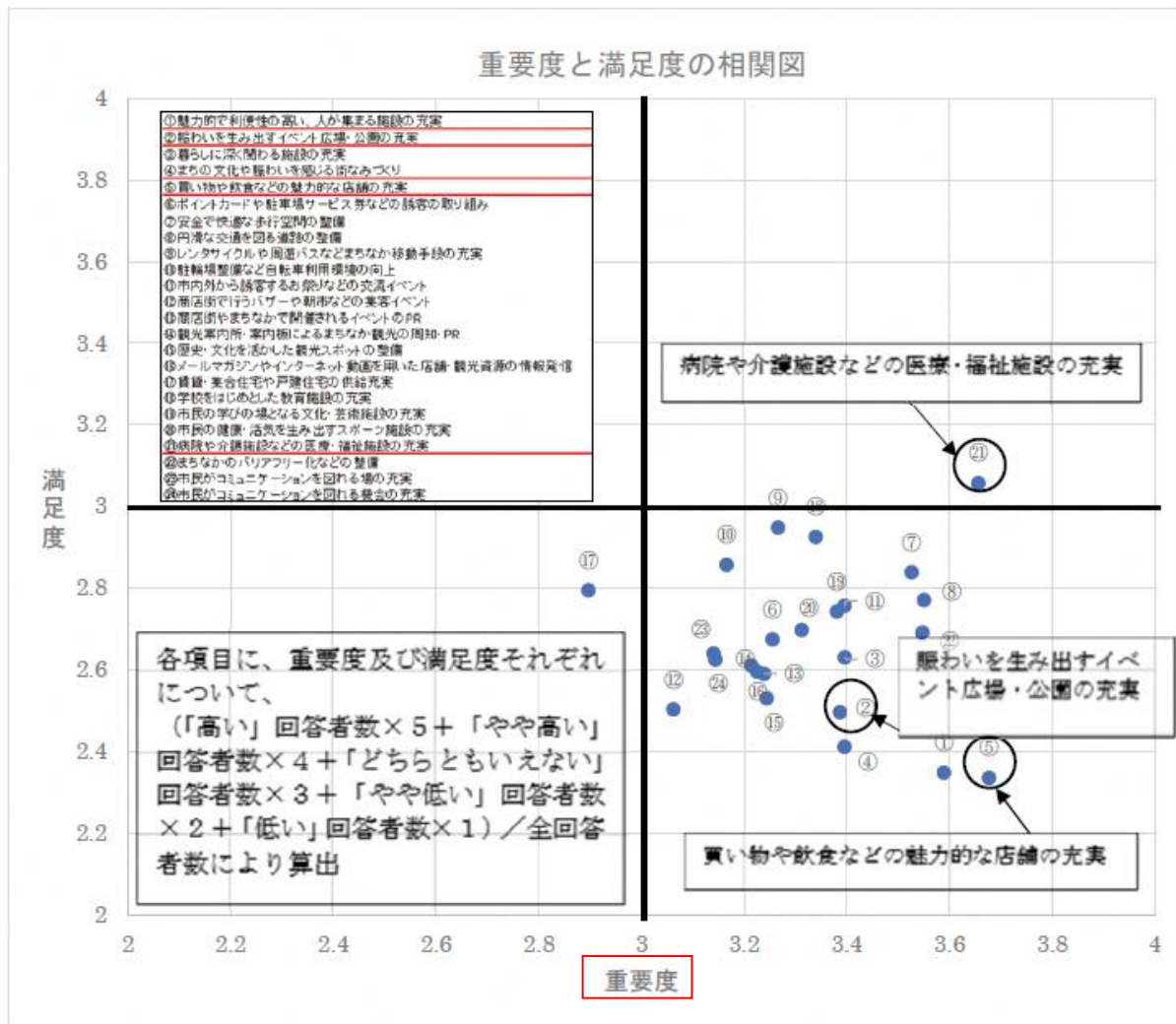
○過去5年間で中心市街地のにぎわいの変化

中心市街地のにぎわいの変化について、最も多かったのは「どちらとも言えない」の35.0%となり、「増したとは思わない・あまり増していないと思う」という意見が、「増した・やや増したと思う」という意見を上回った。

略

○中心市街地のまちづくりの重要度と満足度

略



略

(3) 地域住民ニーズ等の把握・分析

略

②「福島市中心市街地活性化に向けたアンケート調査結果（令和元年8月）」（福島市）

略

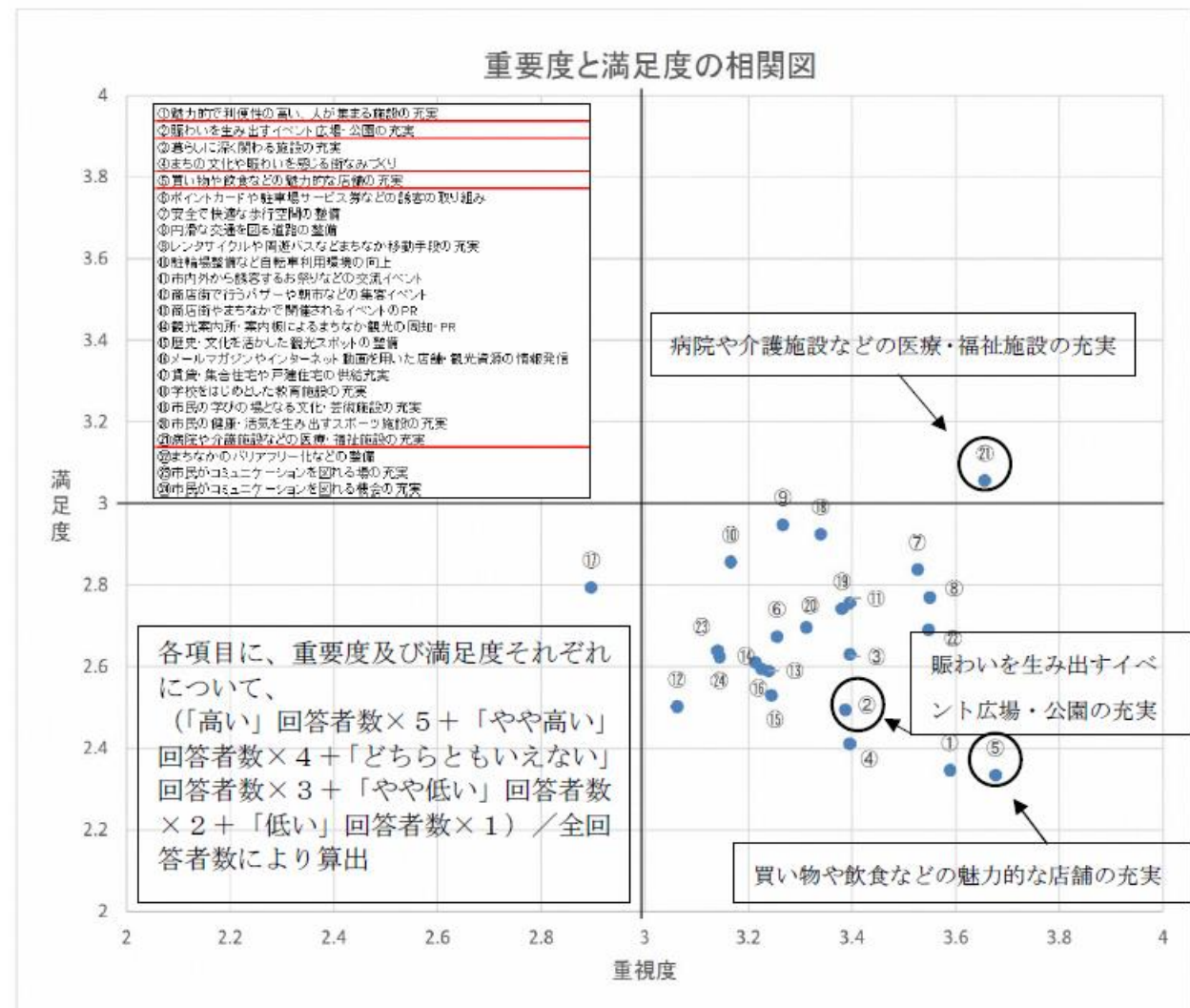
○過去5年間で中心市街地のにぎわいの変化

中心市街地のにぎわいの変化について、最も多かったのは「どちらとも言えない」の35.0%となり、「増やしたとは思わない・あまり増やしていないと思う」という意見が、「増やした・やや増やしたと思う」という意見を上回った。

略

○中心市街地のまちづくりの重要度と満足度

略



略

2. 中心市街地の位置及び区域  
略

3. 中心市街地の活性化の目標

(1) ~ (2) 略

(3) 目標指標の設定の考え方  
略

イ. 新まちなか広場整備事業による効果

新まちなか広場の整備（屋根、トイレ、倉庫等：実施時期R2~R3）により、270人の増加が見込まれる。

①新まちなか広場整備事業による効果 = 270人/日

- ・ 休日の年間利用者人数（イベント来場者数）：87,697人/年（平成30年）
- ・ 新まちなか広場整備事業により、市民からの要望が多い屋根やトイレが整備されることに加えて、屋台などの飲食を楽しむイベント等により広場を積極的に利用してもらうことで、現在の1.2倍\*の利用者数を見込む。

（※希望的数字を見込む）

令和8年における休日の年間利用者数 = 87,697人/年 × 1.2 = 105,236人/年

・ 休日の年間利用者増加数 = 105,236人/年 - 87,697人/年 = 17,539人/年

・ 休日1日当たりの利用者増加数 = 17,539人/年 ÷ 130日（平成30年の休日数）

= 135人/日

・ 新まちなか広場前の歩行者・自転車通行量増加数（往復） = 135人/日 × 2 = 270人/日

②まちなか交流施設（ふくふる）の年間利用者数（R1 14,129人/年）も一体的な運営を図ることとして捉え「a. 目標年度の推計値」の中を含むものとする。

ウ 古閑裕而を活かしたまちづくり事業（メロディーバスの運行）による効果

中心市街地の買い物や点在するドラマロケ地等を巡礼するメロディーバスの運行（支援措置実施時期R2~R3）の継続により、144人の増加が見込まれる。

古閑裕而を活かしたまちづくり事業（メロディーバスの運行）による効果 = 144人/日

・ メロディーバス1日あたり利用者人数：36人 × 1/7（※） × 14本/日 = 72人

・ 歩行者・自転車通行量増加数（往復） = 72人/日 × 2 = 144人/日

略

2. 中心市街地の位置及び区域  
略

3. 中心市街地の活性化の目標

(1) ~ (2) 略

(3) 目標指標の設定の考え方  
略

イ. 新まちなか広場整備事業による効果

新まちなか広場の整備（屋根、トイレ、倉庫等：実施時期R2~R3）により、270人の増加が見込まれる。

①新まちなか広場整備事業による効果 = 270人/日

- ・ 休日の年間利用者人数（イベント来場者数）：87,697人/年（平成30年）
- ・ 新まちなか広場整備事業により、市民からの要望が多い屋根やトイレが整備されることに加えて、屋台などの飲食を楽しむイベント等により広場を積極的に利用してもらうことで、現在の1.2倍\*の利用者数を見込む。

（※希望的数字を見込む）

令和8年における休日の年間利用者数 = 87,697人/年 × 1.2 = 105,236人/年

・ 休日の年間利用者増加数 = 105,236人/年 - 87,697人/年 = 17,539人/年

・ 休日1日当たりの利用者増加数 = 17,539人/年 ÷ 130日（平成30年の休日数）

= 135人/日

・ 新まちなか広場前の歩行者・自転車通行量増加数（往復） = 135人/日 × 2 = 270人/日

②まちなか交流施設（ふくふる）の年間利用者数（R1 14,129人/年）も一体的な運営を図ることとして捉え「a. 目標年度の推計値」の中を含むものとする。

ウ 古閑裕而を活かしたまちづくり事業（メロディーバスの実証運行）による効果

中心市街地の買い物や点在するドラマロケ地等を巡礼するメロディーバスの運行（支援措置実施時期R2~R4）の継続により、144人の増加が見込まれる。

古閑裕而を活かしたまちづくり事業（メロディーバスの実証運行）による効果 = 144人/日

・ メロディーバス1日あたり利用者人数：36人 × 1/7（※） × 14本/日 = 72人

・ 歩行者・自転車通行量増加数（往復） = 72人/日 × 2 = 144人/日

略



==== 基本計画における基本方針・目標指標と活性化事業 ====

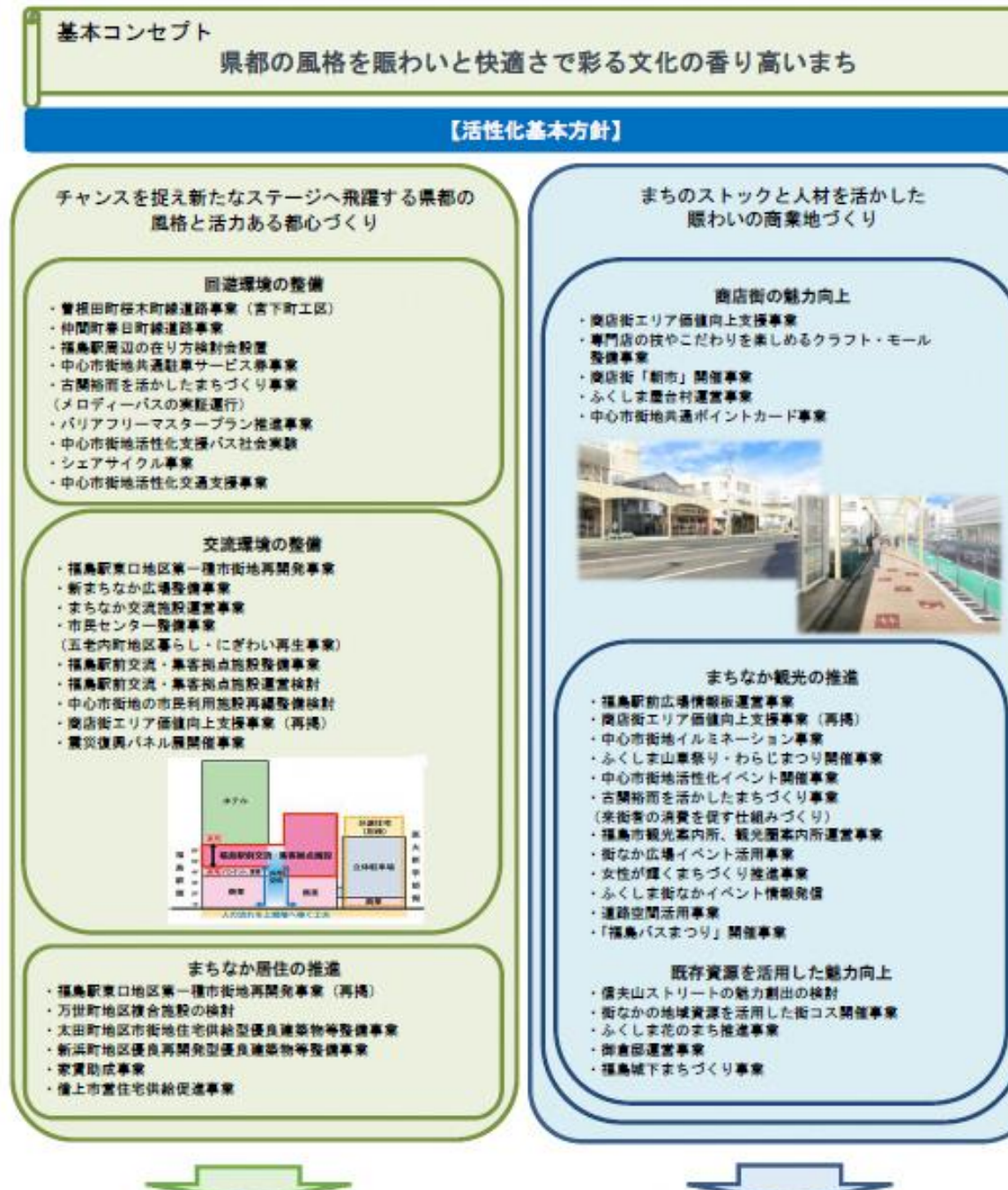


目標：広域的な交流の活性化と賑わいと活力ある商業地の再生

- 目標指標①  
休日の歩行者・自転車通行量
- 目標指標②  
人口の社会増減数
- 目標指標③  
まちづくり活動に  
参画する学生数
- 目標指標④  
計画掲載事業を  
活用した出店数

略

==== 基本計画における基本方針・目標指標と活性化事業 ====



目標：広域的な交流の活性化と賑わいと活力ある商業地の再生

- 目標指標①  
休日の歩行者・自転車通行量
- 目標指標②  
人口の社会増減数
- 目標指標③  
まちづくり活動に  
参画する学生数
- 目標指標④  
計画掲載事業を  
活用した出店数

略



<中心市街地活性化の主な事業>

略

### 新まちなか広場整備事業

多様なイベントの開催や日常の憩いの場の提供、文化的で美しい街並みや歩行空間の形成、指定緊急避難場所としての防災機能を併せ持つことにより、まちなかの「賑わいの拠点」「市民の交流拠点」「回遊軸の拠点」「防災広場」として位置づけるもので、隣接する「ふくふる」（様々な世代や立場の人々が集い、ほっとひと息つけるくつろぎの場やつながりの場として親しまれている）と一体となって、中心市街地の集客や回遊性の向上に寄与する事業である。

【整備概要】

広場の整備、屋根、  
トイレ、倉庫等



新まちなか広場完成イメージ

### 市民センター整備事業

市民会館・敬老センター・中央学習センターの機能を統合・複合化した「市民交流機能」、「議会機能」、市民安全・安心のための「防災機能」を備えた、市民に身近で、より一層愛着をもって、利用される施設となるよう整備するもので、中心市街地の安心・安全な居住環境の向上と賑わいの創出に寄与する事業である。

【整備概要】

市民交流機能  
防災機能  
議会機能  
行政機能の整備



市民センター外観パース

### 専門店の技やこだわりを楽しめるクラフト・モール整備事業

県庁通り商店街において、独自の技やこだわりのある専門店の多さ、街区の基調であるレトロ感や古閑裕而氏の曲調を生かし、商店街を工房街（クラフト・モール）に見立て整備し演出する。

県庁・大原総合病院からの集客、来街者の顧客化の促進と、専門店ならではの技やこだわりをテーマとしたソフト事業の活発な展開を行うとともに、県庁通り商店街の建物や老朽化したアーケード等のリニューアルを行う事業である。

【整備概要】

- ①クラフト・モール作り事業
- ②クラフトマン作り事業
- ③クラフト・モール演出事業
- ④クラフト・モール・メンバー作り事業
- ⑤運営組織強化事業



アーケードリニューアル

<中心市街地活性化の主な事業>

略

### 新まちなか広場整備事業

多様なイベントの開催や日常の憩いの場の提供、文化的で美しい街並みや歩行空間の形成、指定緊急避難場所としての防災機能を併せ持つことにより、まちなかの「賑わいの拠点」「市民の交流拠点」「回遊軸の拠点」「防災広場」として位置づけるもので、隣接する「ふくふる」（様々な世代や立場の人々が集い、ほっとひと息つけるくつろぎの場やつながりの場として親しまれている）と一体となって、中心市街地の集客や回遊性の向上に寄与する事業である。

【整備概要】

広場の整備、屋根、  
トイレ、倉庫等



新まちなか広場完成イメージ

### 市民センター整備事業

市民会館・敬老センター・中央学習センターの機能を統合・複合化した「市民交流機能」、「議会機能」、市民安全・安心のための「防災機能」を備えた、市民に身近で、より一層愛着をもって、利用される施設となるよう整備するもので、中心市街地の安心・安全な居住環境の向上と賑わいの創出に寄与する事業である。

【整備概要】

市民交流機能  
防災機能  
議会機能  
行政機能の整備

### 専門店の技やこだわりを楽しめるクラフト・モール整備事業

県庁通り商店街において、独自の技やこだわりのある専門店の多さ、街区の基調であるレトロ感や古閑裕而氏の曲調を生かし、商店街を工房街（クラフト・モール）に見立て整備し演出する。

県庁・大原総合病院からの集客、来街者の顧客化の促進と、専門店ならではの技やこだわりをテーマとしたソフト事業の活発な展開を行うとともに、県庁通り商店街の建物や老朽化したアーケード等のリニューアルを行う事業である。

【整備概要】

- ①クラフト・モール作り事業
- ②クラフトマン作り事業
- ③クラフト・モール演出事業
- ④クラフト・モール・メンバー作り事業
- ⑤運営組織強化事業



アーケードリニューアルイメージ





4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項

[1] 市街地の整備改善の必要性  
略

[2] 具体的事業の内容

(1) ~ (2) 略

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名3 福島駅東口地区第一種市街地再開発事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
事業名4 新まちなか広場整備事業 内容 広場の整備 屋根、トイレ、倉庫等 実施時期 令和2年度～ 令和3年度	福島市	多様なイベントの開催や日常の憩いの場の提供、文化的で美しい街並みや歩行空間の形成、指定緊急避難場所としての防災機能を併せ持つことにより、街なかの「賑わいの拠点」「市民の交流拠点」「回遊軸の拠点」「防災広場」として位置づけるもので、隣接する「ふくふる」(様々な世代や立場の人々が集い、ほっとひと息つけるくつろぎの場やつながりの場として親しまれている)と一体となって、中心市街地の集客や回遊性の向上に寄与する事業である。	支援措置 防災・安全交付金 (都市防災総合推進事業) 実施時期 令和2年度～ 令和3年度	
				
		街なか広場	新まちなか広場完成イメージ	

(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名5 福島駅周辺の在り方検討会設置 (略)	(略)	(略)	(略)	

4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項

[1] 市街地の整備改善の必要性  
略

[2] 具体的事業の内容

(1) ~ (2) 略



(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名3 福島駅東口地区第一種市街地再開発事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
事業名4 新まちなか広場整備事業 内容 広場の整備 屋根、トイレ、倉庫等 実施時期 令和2年度～ 令和3年度	福島市	多様なイベントの開催や日常の憩いの場の提供、文化的で美しい街並みや歩行空間の形成、指定緊急避難場所としての防災機能を併せ持つことにより、街なかの「賑わいの拠点」「市民の交流拠点」「回遊軸の拠点」「防災広場」として位置づけるもので、隣接する「ふくふる」(様々な世代や立場の人々が集い、ほっとひと息つけるくつろぎの場やつながりの場として親しまれている)と一体となって、中心市街地の集客や回遊性の向上に寄与する事業である。	支援措置 防災・安全交付金 (都市防災総合推進事業) 実施時期 令和2年度～ 令和3年度	
				
		街なか広場	新まちなか広場完成イメージ	


(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名5 福島駅周辺の在り方検討会設置 (略)	(略)	(略)	(略)	



事業名6 まちなか交流施設運営事業（略）	(略)	(略)	(略)	
事業名7 福島駅前広場情報板運営事業 内容 大型マルチビジョンとデジタルサイネージを活用した情報発信 実施時期 令和2年度～	福島市	福島駅前広場の情報板で市内の観光情報やイベントなどの様々な情報を提供し中心市街地の賑わいに繋げる事業である。	 <p>大型マルチビジョン</p>  <p>デジタルサイネージ</p>	
事業名8 信夫山ストリーットの魅力創出の検討（略）	(略)	(略)		

5～6. 略

事業名6 まちなか交流施設運営事業（略）	(略)	(略)	(略)	
事業名7 福島駅前広場情報板運営事業 内容 大型マルチビジョンとデジタルサイネージを活用した情報発信 実施時期 令和2年度～	福島市	福島駅前広場の情報板で市内の観光情報やイベントなどの様々な情報を提供し中心市街地の賑わいに繋げる事業である。	 <p>大型マルチビジョン</p>	
事業名8 信夫山ストリーットの魅力創出の検討（略）	(略)	(略)		

5～6. 略

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業、民間中心市街地商業活性化事業、その他の経済活力の向上のための事業及び措置に関する事項

[1] 経済活力の向上の必要性

略

[2] 具体的事業の内容

(1) 略

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名18 街なかの地域資源を活用した街コス開催事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名19 商店街エリア価値向上支援事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
	イメージUPコンテスト 写真削除	異業種連携の取組み 写真削除	異業種連携の取組み 写真削除	
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名24 古閑裕而を活かしたまちづくり事業(街なか等古閑裕而誘客事業) (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(3) ~移設				

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業、民間中心市街地商業活性化事業、その他の経済活力の向上のための事業及び措置に関する事項




[1] 経済活力の向上の必要性

略

[2] 具体的事業の内容

(1) 略

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名18 街なかの地域資源を活用した街コス開催事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名19 商店街エリア価値向上支援事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
	学生のみちづくりコンテスト  イメージUPコンテスト	居酒屋×洋直 	シェフ×商店街  異業種連携の取組み	
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名24 古閑裕而を活かしたまちづくり事業(街なか等古閑裕而誘客事業) (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名25 震災復興パネル展開催事業 内容 中心市街地における震災復興パネル展及びイベントの開催 実施時期 令和2年度～ 令和3年度	福島市	震災の記憶や復興の軌跡、新たなまちづくりの方向性を国内外に発信するとともに、これまでの支援に対する感謝を伝えることを目的に、震災復興パネル展及び関連イベントを中心市街地(駅周辺の公共施設など)で開催する。 県外の方にも何度も足を運んでいただけるように2~3ヶ月程度で会場及び展示内容を変更し、インバウンド対策の観点も踏まえた展示内容とするため、説明文について英語等多言語化にも対応する。	支援措置 中心市街地活性化ソフト事業 実施時期 令和3年4月～ 令和4年3月	区域内




--	--	--	--	--

(2) ② 略

(3) 中心市街地活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	措置の内容及び実施時期	その他の事項
<u>事業名 2.5</u> 震災復興パネル展開催事業 <u>内容</u> 中心市街地における震災復興パネル展及びイベントの開催 <u>実施時期</u> 令和2年度～ 令和3年度	福島市	震災の記憶や復興の軌跡、新たなまちづくりの方向性を国内外に発信するとともに、これまでの支援に対する感謝を伝えることを目的に、震災復興パネル展及び関連イベントを中心市街地（駅周辺の公共施設など）で開催する。 県外の方にも何度も足を運んでいただけるように2～3ヶ月程度で会場及び展示内容を変更し、インバウンド対策の観点も踏まえた展示内容とするため、説明文について英語等多言語化にも対応する。 さらに、パネル展開催会場を古閑裕而メロディーバスの運行路線上に設定することで多くの方にパネル展に足を運んで頂けることに繋がり、本来の目的の達成や古閑裕而メロディーバスとまちなかイベント等の相乗効果を図り、中心市街地への来訪者の増加、賑わい創出、商業の活性化にも寄与する事業である。	<u>支援措置</u> <u>震災復興特別</u> <u>交付税</u> <u>実施時期</u> <u>令和3年度</u>	 <p>「震災復興パネル展」</p>


		さらに、パネル展開催会場を古閑裕而メロディーバスの運行路線上に設定することで多くの方にパネル展に足を運んで頂けることに繋がり、本来の目的の達成や古閑裕而メロディーバスとまちなかイベント等の相乗効果を図り、中心市街地への来訪者の増加、賑わい創出、商業の活性化にも寄与する事業である。	 <p>「震災復興パネル展」</p>
--	--	--	---

(2) ② 略


(3) 中心市街地活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	措置の内容及び実施時期	その他の事項
<u>(2) ①から移設</u>				

(4) 国の支援措置がないその他の事業


事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<b>事業名 2 6</b> 専門店の技やこだわりを楽しめるクラフト・モール整備事業 <b>内容</b> ①クラフト・モール作り事業 ②クラフトマン作り事業 ③クラフト・モール演出事業 ④クラフト・モール・メンバー作り事業 ⑤運営組織強化事業 <b>実施時期</b> 令和2年度～ 令和5年度	県庁通り商店街振興組合	県庁通り商店街において、独自の技やこだわりのある専門店の多さ、街区の基調であるレトロ感や古閑裕而氏の曲を生かし、商店街を工房街（クラフト・モール）に見立て整備し演出する。県庁・大原総合病院からの集客、来街者の顧客化の促進と、専門店ならではの技術やこだわりをテーマとしたソフト事業の活発な展開を行うとともに、県庁通り商店街の建物や老朽化したアーケード等のリニューアルを行う。	 アーケードリニューアル	
(略)	(略)	(略)	(略)	

(4) 国の支援措置がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<b>事業名 2 6</b> 専門店の技やこだわりを楽しめるクラフト・モール整備事業 <b>内容</b> ①クラフト・モール作り事業 ②クラフトマン作り事業 ③クラフト・モール演出事業 ④クラフト・モール・メンバー作り事業 ⑤運営組織強化事業 <b>実施時期</b> 令和2年度～ 令和5年度	県庁通り商店街振興組合	県庁通り商店街において、独自の技やこだわりのある専門店の多さ、街区の基調であるレトロ感や古閑裕而氏の曲を生かし、商店街を工房街（クラフト・モール）に見立て整備し演出する。県庁・大原総合病院からの集客、来街者の顧客化の促進と、専門店ならではの技術やこだわりをテーマとしたソフト事業の活発な展開を行うとともに、県庁通り商店街の建物や老朽化したアーケード等のリニューアルを行う。	 アーケードリニューアルイメージ	
(略)	(略)	(略)	(略)	

8. [1] (1) 略

(2) ① 認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<b>事業名 4 4</b> パークアンドライド社会実験 <b>内容</b> パークアンドライド駐車場から公共交通、シェアサイクル等を利用して街なかに人を呼び込むための社会実験を実施する。 <b>実施時期</b> 令和3年度～	福島市地域公共交通活性化協議会	<b>位置づけ</b> 中心市街地の外縁部に確保した駐車場から、公共交通やシェアサイクル、徒歩でも街なかと往來できるようにすることで、目標「広域的な交流の活性化」に資する事業に位置づけられる。  <b>必要性</b> 街なか回遊性の向上や滞在時間の増加につながり、目標指標①「休日の歩行者・自転車通行量」の増加に寄与するため。	<b>支援措置</b> 中心市街地活性化ソフト事業 <b>実施期間</b> 令和4年4月～ 令和5年3月	区域内
			 パークアンドライド社会実験	

8. [1] (1) 略

(2) ① 認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
新規追加				



<p><u>事業名 4 5</u> <u>福島駅周辺自転車駐車場整備事業</u> 内容 福島駅周辺における自転車駐車場整備のための調査、整備計画の策定および基本設計を実施する。</p> <p>実施時期 令和4年度～ 令和6年度</p>	<p>福島市</p>	<p><u>位置づけ</u> 中心市街地の交通結節点である福島駅の近傍に自転車駐車場を整備することで、目標「広域的な交流の活性化」に資する事業に位置づけられる。</p> <p><u>必要性</u> 区域外から中心市街地へ自転車で訪れる来街者の自転車駐車場を整備することで、街なか回遊性と自転車利用環境の向上につながり、指標①「休日の歩行者・自転車通行量」の増加に寄与するため。</p>	<p><u>支援措置</u> 中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>実施時期 令和4年4月～ 令和7年3月</p>	<p>区域内</p>	<p>新規追加</p>					
<p><u>事業名 4 6</u> <u>シェアサイクルポート整備事業</u> 内容 シェアサイクル利用者の利便性向上のためサイクルポートを整備する。</p> <p>実施時期 令和4年度</p>	<p>福島市</p>	<p><u>位置づけ</u> 中心市街地での回遊性の向上に寄与するシェアサイクルの更なる利便性向上を図るため、サイクルポートを整備し、利用頻度が増加することで、目標「広域的な交流の活性化」に資する事業に位置づけられる。</p> <p><u>必要性</u> 雨及び雪による自転車の劣化を防止し、快適に利用できるようにすることで、利用頻度の向上につながり、指標①「休日の歩行者・自転車通行量」の増加に寄与するため。</p>	<p><u>支援措置</u> 中心市街地再活性化特別対策事業</p> <p>実施時期 令和4年度</p>	<p>区域内</p>	<p>新規追加</p>					



整備イメージ

(2) ② 略

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p><u>事業名 3 8</u> 古閑裕而を活かしたまちづくり事業(メロディーバスの実証運行)</p> <p>内容 古閑裕而ストリートを巡回する実証運行</p> <p>実施時期 令和2年度～ 令和3年度</p>	福島市	中心市街地の買い物や点在するドラマロケ地等を巡るツールとして、古閑コンテンツを繋ぐ周遊ルートで音楽をモチーフとしたメロディーバスを実証運行することで、中心市街地の回遊性の向上に寄与する事業である。	<p>支援措置 地方創生推進交付金</p> <p>実施時期 令和3年度</p>	

(2) ② 略

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p><u>事業名 3 8</u> 古閑裕而を活かしたまちづくり事業(メロディーバスの実証運行)</p> <p>内容 古閑裕而ストリートを巡回する実証運行</p> <p>実施時期 令和2年度～ 令和4年度</p>	福島市	中心市街地の買い物や点在するドラマロケ地等を巡るツールとして、古閑コンテンツを繋ぐ周遊ルートで音楽をモチーフとしたメロディーバスを実証運行することで、中心市街地の回遊性の向上に寄与する事業である。	<p>支援措置 地方創生推進交付金</p> <p>実施時期 令和3年度～ 令和4年度</p>	

								
			メロディーバス				メロディーバス	
事業名 3.9 バリアフリーマスタープラン推進事業 内容 計画策定 実施時期 令和2年度～	福島市	高齢者、障害者等の移動や施設利用の利便性や安全性向上を促進するため、面的・一体的なバリアフリー化の方針を示すバリアフリーマスタープラン、および基本構想を策定する。	支援措置 地域公共交通調査等事業 (地域公共交通バリアフリー化調査事業) 実施時期 令和2年度～		事業名 3.9 バリアフリーマスタープラン推進事業 内容 計画策定 実施時期 令和2年度～	福島市	高齢者、障害者等の移動や施設利用の利便性や安全性向上を促進するため、面的・一体的なバリアフリー化の方針を示すバリアフリーマスタープランを策定する。	支援措置 地域公共交通調査等事業 (地域公共交通バリアフリー化調査事業) 実施時期 令和3年度～
事業名 4.0 中心市街地活性化支援バス社会実験 内容 周遊バス等の社会実験 実施時期 平成27年度～	福島市	市内循環線を中心として、中心市街地における医療施設や公共施設への使用状況から路線の見直しを行うほか、区域外の公共交通空白地域に既存公共交通と接続する「小さな交通」の実証運行を行っている。 引き続き、より効果的な運行路線の検討を行うほか、中心市街地へのアクセス向上を図り、来訪者を増加させることで中心市街地の活性化に寄与する事業である。	支援措置 地方創生推進交付金 実施時期 令和2年度～ 	ラッピングバス	(4) から移設			
事業名 4.1 シェアサイクル推進事業 内容 シェアサイクル 実施時期 令和3年度～	福島市	バスや鉄道交通を補完する移動手段として、電動アシスト付き自転車とスマートフォンによるIoTを活用し、決められた場所ならどこでも返却可能なシェアサイクルを推進し、中心市街地の活性化に寄与する事業である。	支援措置 地方創生推進交付金 実施時期 令和3年度～ 		(4) から移設			



(4) 国の支援措置がないその他の事業

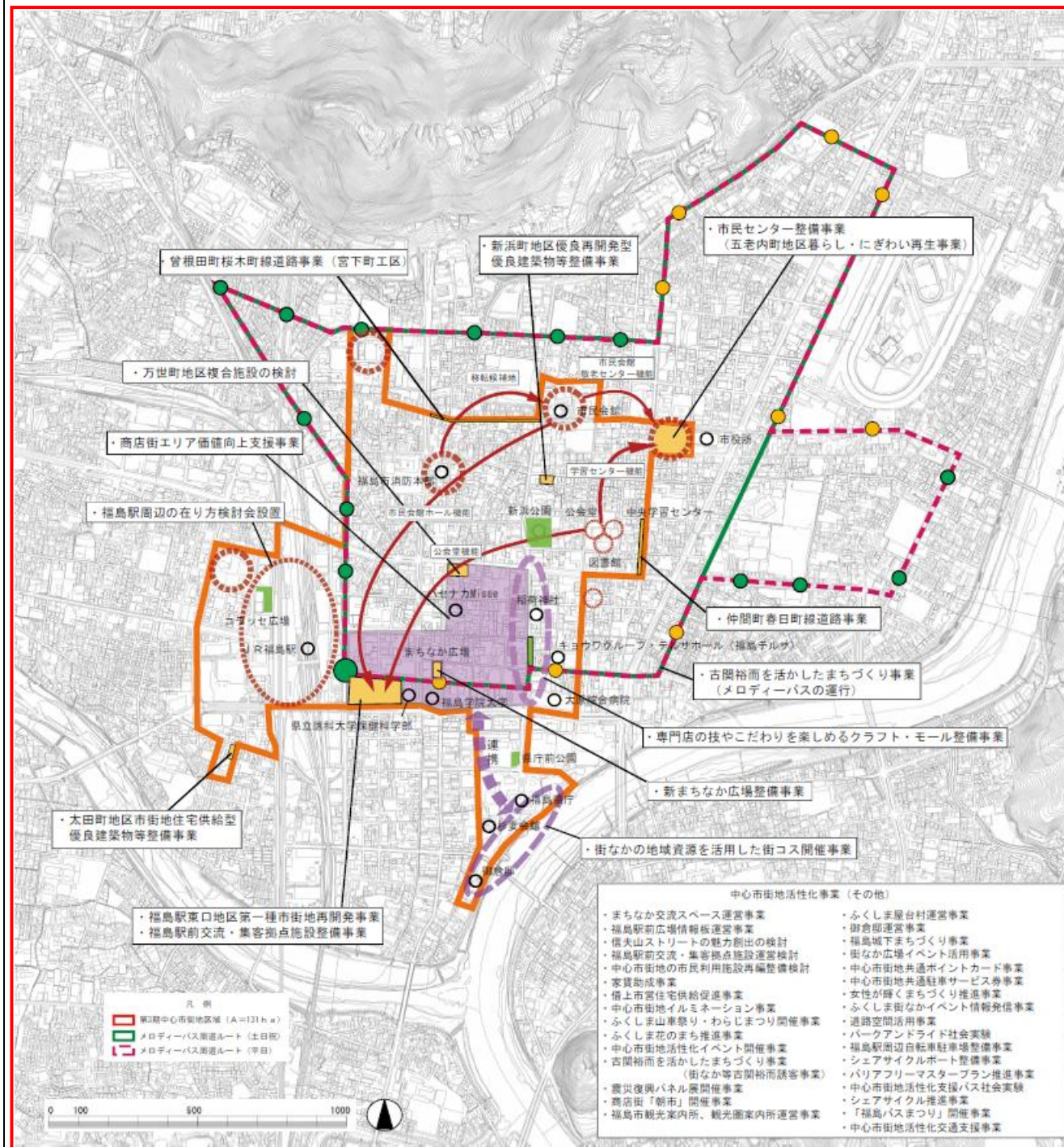
事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<u>(3)へ移設</u>				
<u>(3)へ移設</u>				
事業名42 「福島バスまつり」開催事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
事業名43 中心市街地活性化交通支援事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
事業名47 <u>古関裕而を活かしたまちづくり事業(メロディーバスの運行)</u> 内容 <u>古関裕而ストリートを巡回する運行</u> 実施時期 <u>令和4年度～</u>	福島市	<u>中心市街地の買い物や点在するドラマロケ地等を巡るツールとして、古関コンテンツを繋ぐ周遊ルートで音楽をモチーフとしたメロディーバスを運行することで、中心市街地の回遊性の向上に寄与する事業である。</u>	 メロディーバス	

(4) 国の支援措置がないその他の事業

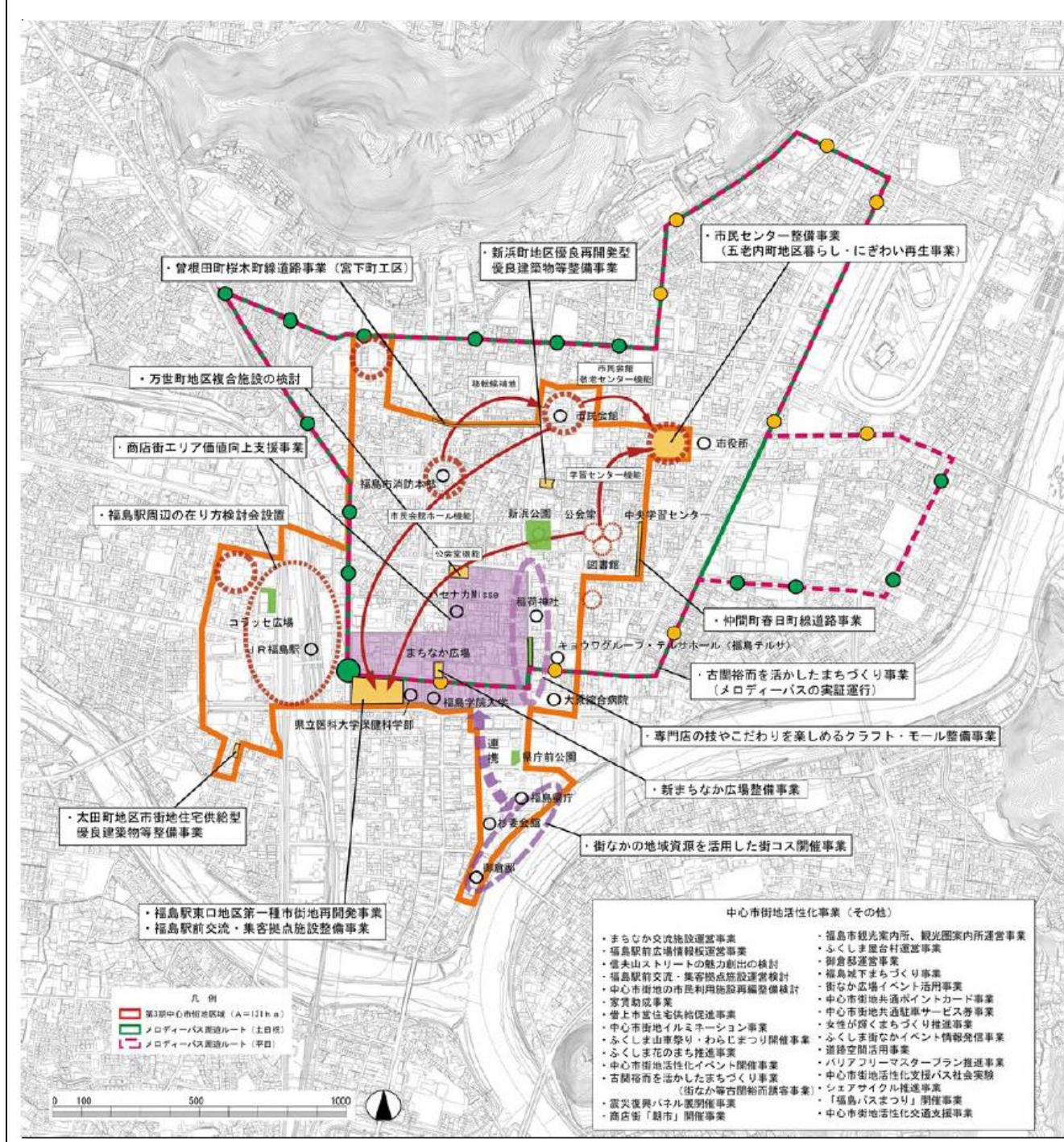
事業名、内容及び実施時期	実施主体	中心市街地の活性化を実現するための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名40 中心市街地活性化支援バス社会実験 内容 周遊バスの社会実験 実施時期 平成27年度～	福島市	市内循環線を中心として、中心市街地における医療施設や公共施設への使用状況から路線の見直しを行っている。 引き続き、より効果的な運行路線の検討を行い、中心市街地へのアクセス向上を図り、来街者を増加させることで中心市街地の活性化に寄与する事業である。	 ラッピングバス	
事業名41 シェアサイクル推進事業 内容 シェアサイクル 実施時期 令和3年度～	福島市	バスや鉄道交通を補完する移動手段として、電動アシスト付き自転車とスマートフォンによるIoTを活用し、決められた場所ならどこでも返却可能なシェアサイクルを推進し、中心市街地の活性化に寄与する事業である。	 レンタサイクル貸出所	
事業名42 「福島バスまつり」開催事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
事業名43 中心市街地活性化交通支援事業 (略)	(略)	(略)	(略)	
<u>新規追加</u>				



◇4から8までに掲げる事業及び措置の実施箇所



◇4から8までに掲げる事業及び措置の実施箇所





9. 4から8までに掲げる事業及び措置の総合的かつ一体的推進に関する事項

[1] 市町村の推進体制の整備等

(1) ①略

②中心市街地整備庁内推進会議幹事会の設置

中心市街地整備庁内推進会議の下部組織として、中心市街地活性化に資する各種事業を所管する各部の次長及び課長級職員(23名)で構成する「福島市中心市街地整備庁内推進会議幹事会」を設置し、各事業の調整及び関係機関との連絡調整に関すること等について検討会議を随時開催している。

所 属	職 名	備 考
政策調整部	政策調整課長、 <u>地域共創課長</u>	
総務部	男女共同参画センター所長	
財務部	管財課長、財政課長、財産マネジメント推進課長、公共建築課長	
商工観光部	産業雇用政策課長、商工業振興課長、 <u>観光交流推進室次長</u>	
市民・文化スポーツ部	生活課長、文化振興課長	
健康福祉部長	健康推進課長	
こども未来部	こども政策課長	
建設部	路政課長	
都市政策部	都市政策部次長、都市計画課長、交通政策課長、開発建築指導課長、公園緑地課長、市街地整備課長、住宅政策課長	
教育委員会	教育総務課長	

○福島市中心市街地整備庁内推進会議幹事会開催経過

前計画認定以降、これまでの開催状況は以下のとおり。

回数	開催日時	場所	内容
(略)	(略)	(略)	(略)
第21回	令和2年11月18日	書面開催	・第3期中心市街地活性化基本計画(素案)のパブリック・コメント結果について ・計画認定までのスケジュールについて
<u>第22回</u>	<u>令和3年6月7日</u>	<u>書面開催</u>	・ <u>第3期福島市中心市街地活性化基本計画の認定について</u> ・ <u>福島市中心市街地整備庁内推進会議設置要綱の改正について</u> ・ <u>第2期福島市中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップ報告について</u>

[2] 中心市街地活性化協議会に関する事項

(1) 福島市中心市街地活性化協議会の概要

平成19年10月19日に福島市中心市街地活性化協議会が設立され、以後定期的に運営委員会や全体会を開催し前計画の推進に取り組むとともに、新計画の策定に向けて議論を重ねてきた。

9. 4から8までに掲げる事業及び措置の総合的かつ一体的推進に関する事項

[1] 市町村の推進体制の整備等

(1) ①略

②中心市街地整備庁内推進会議幹事会の設置

中心市街地整備庁内推進会議の下部組織として、中心市街地活性化に資する各種事業を所管する各部の次長及び課長級職員(22名)で構成する「福島市中心市街地整備庁内推進会議幹事会」を設置し、各事業の調整及び関係機関との連絡調整に関すること等について検討会議を随時開催している。

所 属	職 名	備 考
政策調整部	政策調整課長 <u>新規追加</u>	
総務部	男女共同参画センター所長	
財務部	管財課長、財政課長、財産マネジメント推進課長、公共建築課長	
商工観光部	産業雇用政策課長、商工業振興課長、 <u>観光コンベンション推進室次長</u>	
市民・文化スポーツ部	生活課長、文化振興課長	
健康福祉部長	健康推進課長	
こども未来部	こども政策課長	
建設部	路政課長	
都市政策部	都市政策部次長、都市計画課長、交通政策課長、開発建築指導課長、公園緑地課長、市街地整備課長、住宅政策課長	
教育委員会	教育総務課長	

○福島市中心市街地整備庁内推進会議幹事会開催経過

前計画認定以降、これまでの開催状況は以下のとおり。

回数	開催日時	場所	内容
(略)	(略)	(略)	(略)
第21回	令和2年11月18日	書面開催	・第3期中心市街地活性化基本計画(素案)のパブリック・コメント結果について ・計画認定までのスケジュールについて
<u>新規追加</u>			

[2] 中心市街地活性化協議会に関する事項

(1) 福島市中心市街地活性化協議会の概要

平成19年10月19日に福島市中心市街地活性化協議会が設立され、以後定期的に運営委員会や全体会を開催し前計画の推進に取り組むとともに、新計画の策定に向けて議論を重ねてきた。

福島市中心市街地活性化協議会構成団体・委員（令和3～4年度）

No.	団体名等	役職名	氏名	協議会役職
1	福島商工会議所	会頭	渡邊 博美	会長
2	福島商工会議所	副会頭	後藤 忠久	
3	(株)福島まちづくりセンター	代表取締役社長	小林 勇一	副会長
4	福島商工会議所	専務理事	石井 浩	
5	(株)福島まちづくりセンター	総務部長	鈴木 暁夫	
6	福島市	商工観光部長	市村 尊広	
7	福島市	都市政策部長	遠藤 徳良	
8	福島市商店街連合会	会長	小河日出男	監事
9	福島駅前通り商店街振興組合	理事長	大関 宏之	
10	パセオ協同組合	理事長	小関 庄兵	
11	仙台ターミナルビル(株)エスパル福島	店長	大村 信裕	
12	東日本旅客鉄道(株)福島駅	福島駅長	佐々木高敏	
13	福島交通(株)	執行役員福島支社長	茅原 稔	
14	阿武隈急行(株)	代表取締役専務	新関 勝造	
15	福島地区タクシー協同組合	理事長	西條 勝敏	
16	(一財)大原記念財団	総務部長	鏡 敬文	
17	(株)東邦銀行	取締役頭取	佐藤 稔	
18	(株)福島銀行	取締役社長	加藤 容啓	
19	福島信用金庫	理事長	樋口 郁雄	
20	ふくしま未来農業協同組合	福島地区役員代表	永澤 信弘	
21	(学)福島学院	理事長・学長	桜田 葉子	
22	(大)福島県立医科大学保健科学部	学部長	矢吹 省司	
23	(学)桜の聖母短期大学	学長	西内みなみ	
24	東日本電信電話(株)福島支店	支店長	島山 良平	
25	(株)いちい	代表取締役社長	伊藤 信弘	
26	福島商工会議所 中心市街地活性化委員会	委員長	小河日出男	
27	〃	副委員長	草野 健	
28	福島商工会議所青年部	会長	渡邊 啓道	
29	福島商工会議所女性会	会長	追分 富子	
30	福島市商店街連合会青年部	会長	後藤 洋孝	
31	(公社)福島青年会議所	理事長	伊藤 大地	
32	ふくしま市女性団体連絡協議会	会長	小澤 和枝	
33	認定特定非営利活動法人 ふくしま NPO ネットワークセンター	副理事長	菅野 真	監事
34	中央東地区自治振興協議会	会長	小野 國武	
35	中央西地区自治振興協議会	会長	江川 純子	
36	福島市老人クラブ連合会	副会長	阿部 國治	
37	(福)福島市社会福祉協議会	常務理事	三浦 辰夫	

福島市中心市街地活性化協議会構成団体・委員（令和2年度）

No.	団体名等	役職名	氏名	協議会役職
1	福島商工会議所	会頭	渡邊 博美	会長
2	福島商工会議所	副会頭	後藤 忠久	
3	(株)福島まちづくりセンター	代表取締役社長	小林 勇一	副会長
4	福島商工会議所	専務理事	石井 浩	
5	(株)福島まちづくりセンター	総務部長	鈴木 暁夫	
6	福島市	商工観光部長	市村 尊広	
7	福島市	都市政策部長	遠藤 徳良	
8	福島市商店街連合会	会長	小河日出男	監事
9	福島駅前通り商店街振興組合	理事長	大関 宏之	
10	パセオ協同組合	理事長	小関 庄兵	
11	(株)中合	代表取締役社長	黒崎 浩一	
12	仙台ターミナルビル(株)エスパル福島	執行役員店長	千田 力	
13	東日本旅客鉄道(株)福島駅	福島駅長	佐々木高敏	
14	福島交通(株)	執行役員福島支社長	茅原 稔	
15	阿武隈急行(株)	代表取締役専務	安海 好昭	
16	福島地区タクシー協同組合	理事長	西條 勝敏	
17	(一財)大原記念財団	総務部長	松谷 治夫	
18	(株)東邦銀行	取締役頭取	北村 清士	
19	(株)福島銀行	取締役社長	加藤 容啓	
20	福島信用金庫	理事長	樋口 郁雄	
21	ふくしま未来農業協同組合	福島地区役員代表	永澤 信弘	
22	福島商工会議所 中心市街地活性化委員会	委員長	小河日出男	
23	〃	副委員長	黒崎 浩一	
24	〃	副委員長	草野 健	
25	福島商工会議所青年部	会長	渡邊 啓道	
26	福島商工会議所女性会	会長	追分 富子	
27	福島市商店街連合会青年部	会長	蓮沼 賢一	
28	(公社)福島青年会議所	理事長	菅原 正裕	
29	ふくしま市女性団体連絡協議会	会長	小澤 和枝	
30	(学)福島学院	理事長・学長	桜田 葉子	
31	認定特定非営利活動法人 ふくしま NPO ネットワークセンター	副理事長	菅野 真	監事
32	中央東地区自治振興協議会	会長	小野 國武	
33	中央西地区自治振興協議会	会長	清水 徹	
34	福島市老人クラブ連合会	会長	湯上 要	
35	(福)福島市社会福祉協議会	常務理事	三浦 辰夫	



(2) 協議会開催状況

前計画認定以降、これまでの開催状況は以下のとおり。

<福島市中心市街地活性化協議会>

回数	開催日時	場所	内容
(略)	(略)	(略)	(略)
第25回	令和2年11月27日	福島商工会議所 会議室	・第3期中心市街地活性化基本計画(素案)のパブリック・コメント結果について ・福島市中心市街地活性化協議会による意見書について ・計画認定までのスケジュールについて
<u>第26回</u>	<u>令和3年6月24日</u>	<u>ウェディングエルティ</u>	<u>[報告]</u> ・ <u>第3期福島市中心市街地活性化基本計画の認定について</u> ・ <u>第2期福島市中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップ報告について</u> <u>[議題]</u> ・ <u>令和2年度事業報告について</u> ・ <u>令和3年度事業計画(案)について</u> ・ <u>役員改選について</u>
<u>第27回</u>	<u>令和3年12月27日</u>	<u>書面審議</u>	<u>[議題]</u> ・ <u>認定基本計画の計画変更(第1回)について</u> ・ <u>変更に関する協議会による意見書について</u>

<福島市中心市街地活性化協議会 運営会議>

回数	開催日時	場所	内容
(略)	(略)	(略)	(略)
第35回	令和2年11月17日	福島商工会議所 会議室	・第3期中心市街地活性化基本計画(素案)のパブリック・コメント結果について ・福島市中心市街地活性化協議会による意見書について ・計画認定までのスケジュール
<u>第36回</u>	<u>令和3年4月26日</u>	<u>福島商工会議所 会議室</u>	<u>[報告]</u> ・ <u>第3期福島市中心市街地活性化基本計画の認定について</u> <u>[議題]</u> ・ <u>令和2年度事業報告及び収支決算について</u> ・ <u>令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)について</u> ・ <u>役員改選について</u> ・ <u>第2期福島市中心市街地活性化計画の最終フォローアップ報告について</u>
<u>第37回</u>	<u>令和3年11月29日</u>	<u>福島商工会議所 会議室</u>	<u>[議題]</u> ・ <u>第3期中心市街地活性化基本計画の変更概要について</u> ・ <u>今後のスケジュールについて</u>

(3) ~ (6) 略

[3] 略

(2) 協議会開催状況

前計画認定以降、これまでの開催状況は以下のとおり。

<福島市中心市街地活性化協議会>

回数	開催日時	場所	内容
(略)	(略)	(略)	(略)
第25回	令和2年11月27日	福島商工会議所 会議室	・第3期中心市街地活性化基本計画(素案)のパブリック・コメント結果について ・福島市中心市街地活性化協議会による意見書について ・計画認定までのスケジュールについて
<u>新規追加</u>			
<u>新規追加</u>			

<福島市中心市街地活性化協議会 運営会議>

回数	開催日時	場所	内容
(略)	(略)	(略)	(略)
第35回	令和2年11月17日	福島商工会議所 会議室	・第3期中心市街地活性化基本計画(素案)のパブリック・コメント結果について ・福島市中心市街地活性化協議会による意見書について ・計画認定までのスケジュール
<u>新規追加</u>			
<u>新規追加</u>			

(3) ~ (6) 略

[3] 略

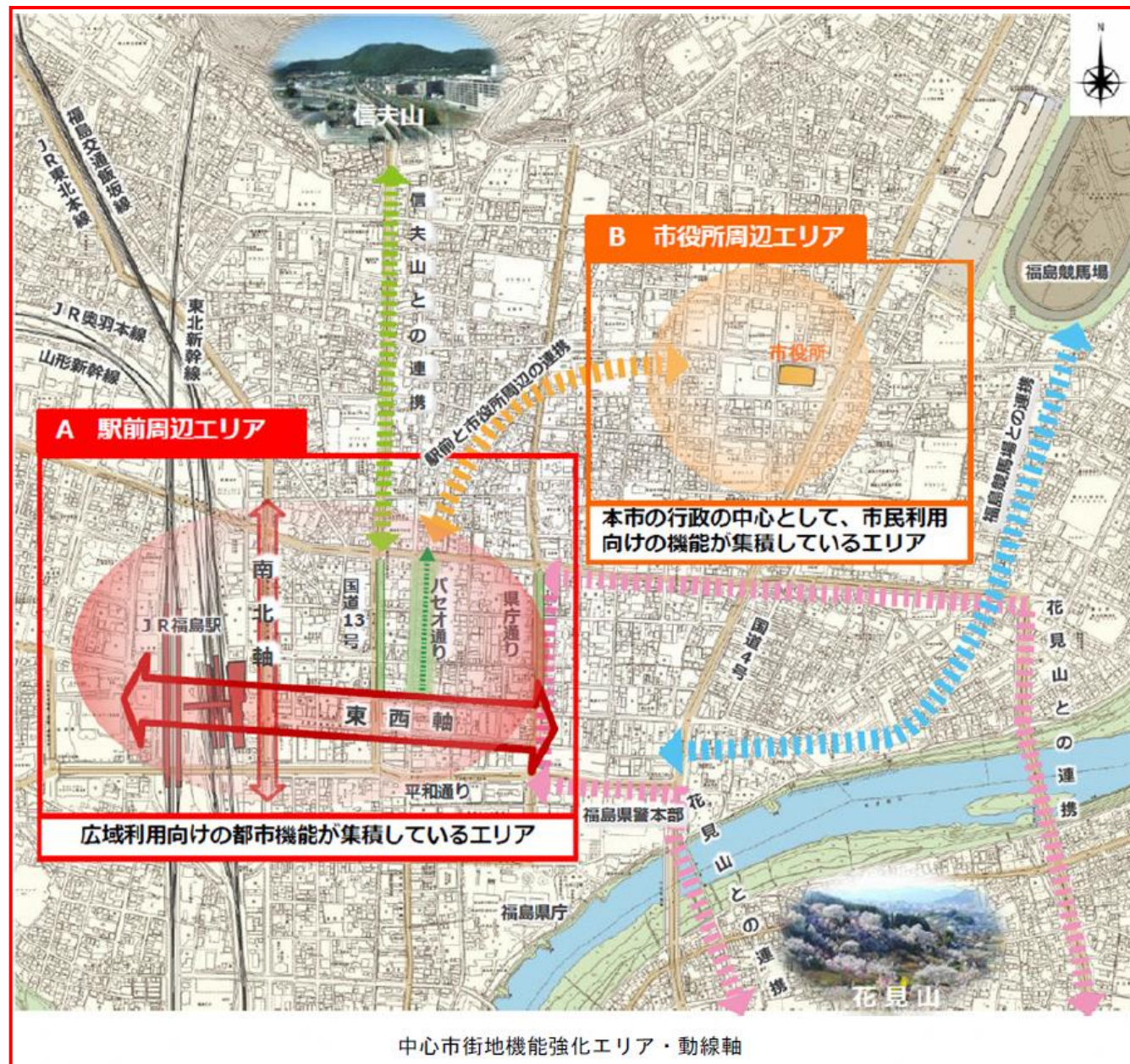
10. 中心市街地における都市機能の集積の促進を図るための措置に関する事項

[1] 都市機能の集積の促進の考え方

(1) 中心市街地への都市機能集積のための方針

「福島市公共施設の戦略的再編整備検討委員会」と「福島市中心市街地における将来ビジョン検討委員会」からの提言を受け、中心市街地に立地する老朽化した公共施設の再編整備や中心市街地のにぎわい形成に向けた高次の都市機能の配置等に関する基本的な方向性を示した「風格ある県都を目指すまちづくり構想」及び福島市総合計画ならびに福島市都市計画マスタープランと整合を図りながら、都市機能の集積を図るものとしている。

また、まちづくり三法の見直しや福島県の商業まちづくりの推進に関する条例の制定に伴い、日常生活の利便性、中心市街地への商業施設の積極的な誘導と魅力向上、合理的な土地利用の促進等を示す、福島市商業まちづくり基本構想を策定した。



[2] 略

10. 中心市街地における都市機能の集積の促進を図るための措置に関する事項

[1] 都市機能の集積の促進の考え方

(1) 中心市街地への都市機能集積のための方針

「福島市公共施設の戦略的再編整備検討委員会」と「福島市中心市街地における将来ビジョン検討委員会」からの提言を受け、中心市街地に立地する老朽化した公共施設の再編整備や中心市街地のにぎわい形成に向けた高次の都市機能の配置等に関する基本的な方向性を示した「風格ある県都を目指すまちづくり構想」及び福島市総合計画ならびに福島市都市計画マスタープランと整合を図りながら、都市機能の集積を図るものとしている。

また、まちづくり三法の見直しや福島県の商業まちづくりの推進に関する条例の制定に伴い、日常生活の利便性、中心市街地への商業施設の積極的な誘導と魅力向上、合理的な土地利用の促進等を示す、福島市商業まちづくり基本構想を策定した。

※図表新規追加

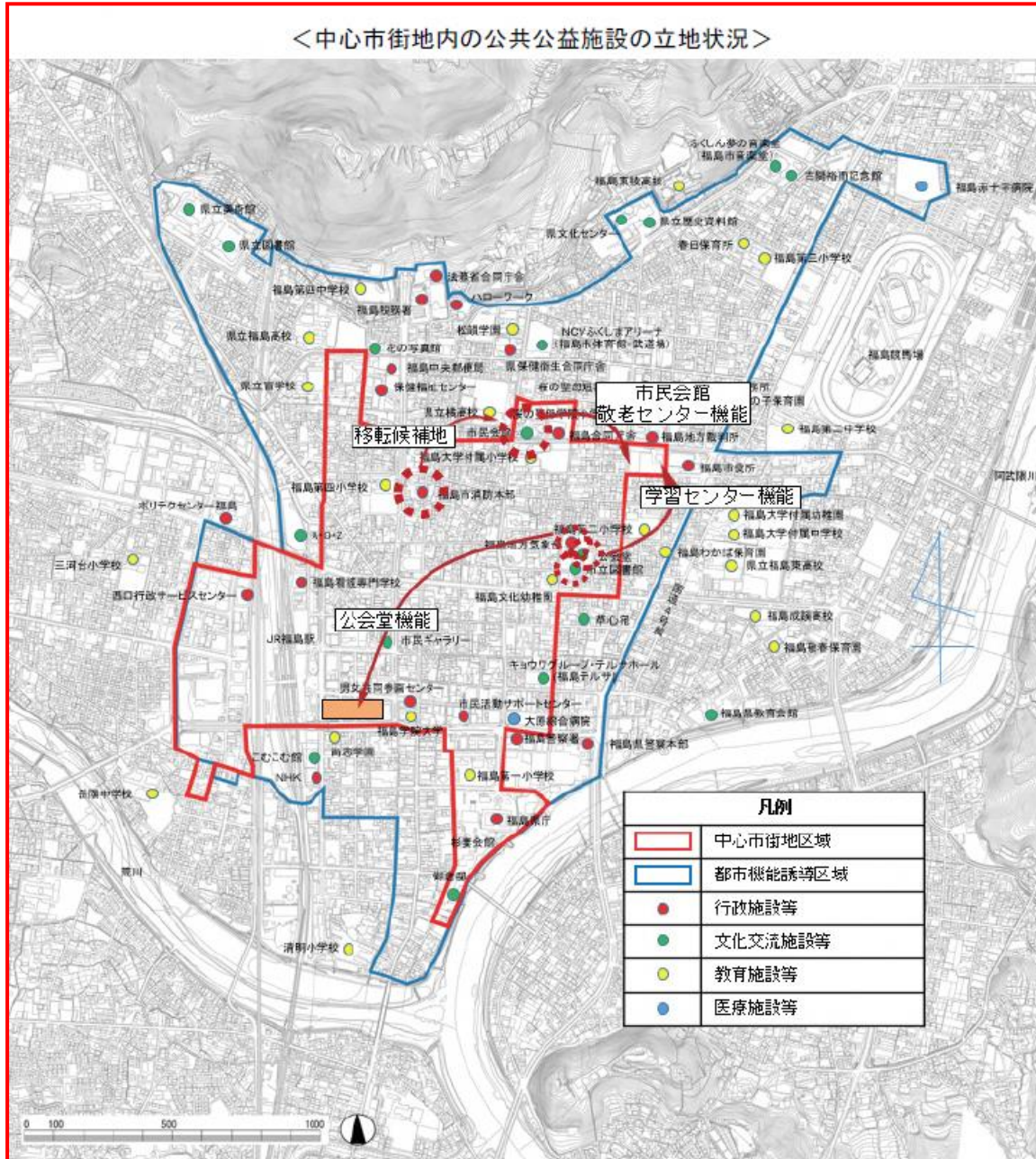
[2] 略



[3] 公共公益施設の状況

中心市街地には、公会堂、図書館本館、学習センター、市民会館や小中学校などの多くの公共施設が立地し、市民生活の中心として、また様々な集いと交流の場を担ってきた。

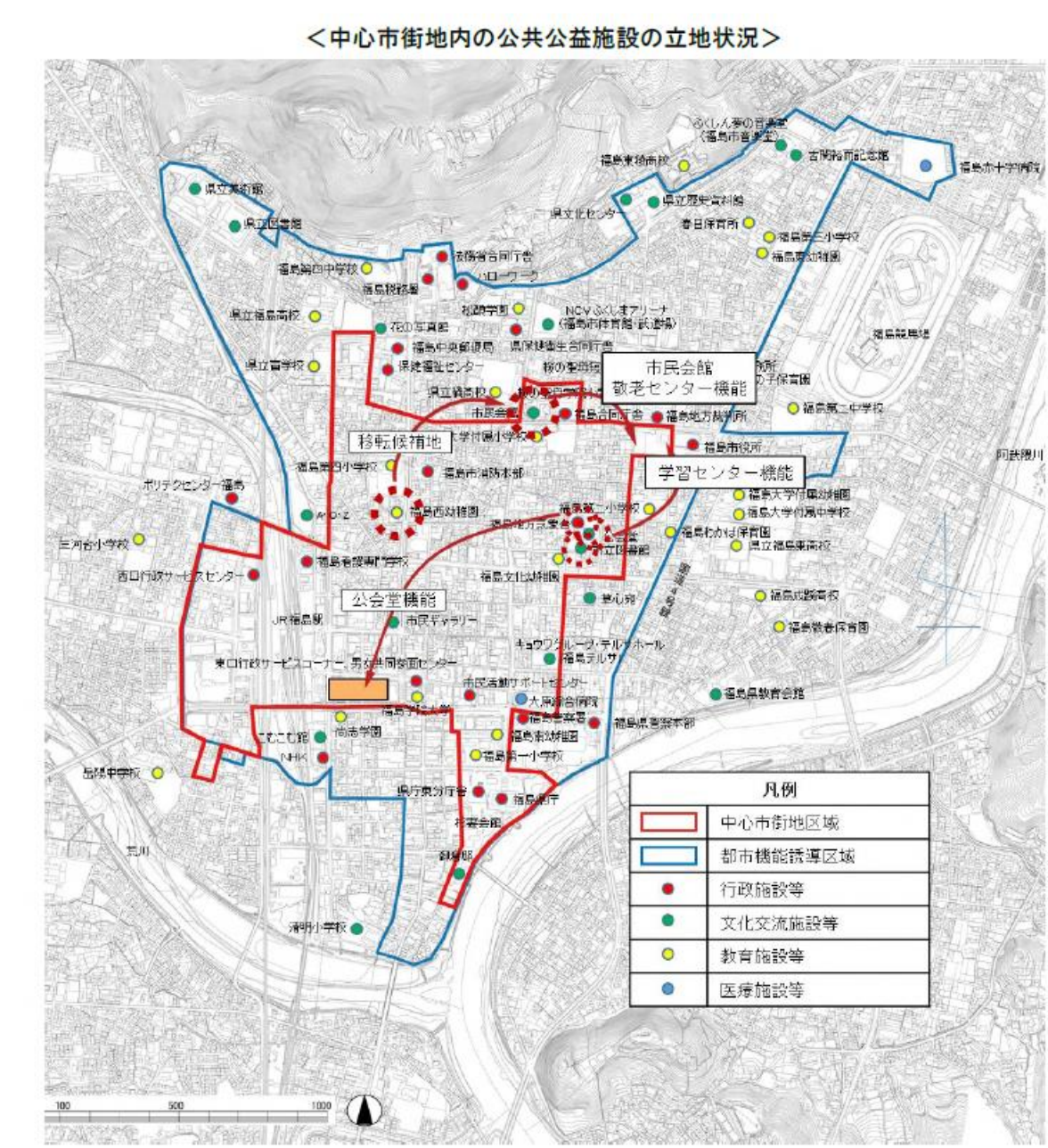
しかし、過去に建設された大半の公共施設はこれから更新時期を迎えることになる。施設整備にあたっては、風格ある県都を目指すまちづくり構想と福島市公共施設等総合管理計画の基本方針を踏まえ、真に必要な機能の選択や統合・複合化の市民利用施設再編整備検討を進めるとともに既存ストックの有効活用のもとで、活性化を図る。



[3] 公共公益施設の状況

中心市街地には、公会堂、図書館本館、学習センター、市民会館や小中学校などの多くの公共施設が立地し、市民生活の中心として、また様々な集いと交流の場を担ってきた。

しかし、過去に建設された大半の公共施設はこれから更新時期を迎えることになる。施設整備にあたっては、風格ある県都を目指すまちづくり構想と福島市公共施設等総合管理計画の基本方針を踏まえ、真に必要な機能の選択や統合・複合化の市民利用施設再編整備検討を進めるとともに既存ストックの有効活用のもとで、活性化を図る。








(2) 主な市民利用施設整備再編整備検討  
略

< 中心市街地と周辺の主な公共公益施設の状況 >

	<p><b>福島消防本部/福島消防署</b> 所在地：福島市天神町（築48年）</p> <p>【現況】 《行政系施設》                  建物：地上3階（RC造）/延床1,445㎡/合築                  機能：①消防庁舎（本部5課）及び福島消防署                  ②高機能消防指令システムによる、消防救急受付指令業務                  （※システム更新：令和8年度）</p>
	<p>ふくしん夢の音楽堂（福島市音楽堂）/働く婦人の家/勤労青少年ホーム                  所在地：福島市入江町（築35年）</p> <p>【現況】 《市民文化系施設/産業系施設》                  建物：地上3階・地下1階（SRC造）/延床7,786㎡/合築                  機能：①（音）：音楽ホール（1,002席）ほか/年15万人利用                  ②（働）：講習室等4室/年2.3万人利用                  ③（勤）：談話室等6室/年3.5万人利用</p>
	<p>草心苑 所在地：福島市仲間町</p> <p>【現況】 《社会教育系施設》                  建物：地上2階（木造）/延床226㎡/寄附物件                  機能：①茶室等6室                  ②年約4千人利用                  ③駐車台数4台</p>
	<p>古関裕而記念館 所在地：福島市入江町（築31年）</p> <p>【現況】 《市民文化系施設》                  建物：地上2階（RC造）/延床656㎡/②に集約配置                  機能：①名誉市民で作曲家・古関裕而の資料の収集・保存・展示等を目的とした施設                  ②展示室ほか/年1.5万人利用</p>
	<p>キョウワグループ・テルサホール（福島テルサ） 所在地：福島市上町（築25年）</p> <p>【現況】 《市民文化系施設》                  建物：地上6階・地下1階（SRC造）/延床9,649㎡                  機能：①ホール（473席）、楽屋、会議室等14室                  ②年14万人利用                  ③福島駅徒歩圏に立地</p>

(2) 主な市民利用施設整備再編整備検討  
略

< 中心市街地と周辺の主な公共公益施設の状況 >

	<p><b>福島消防本部/福島消防署</b> 所在地：福島市天神町（築48年）</p> <p>【現況】 《行政系施設》                  建物：地上3階（RC造）/延床1,445㎡/合築                  機能：①消防庁舎（本部5課）及び福島消防署                  ②高機能消防指令システムによる、消防救急受付指令業務                  （※システム更新：平成38年度）</p>
	<p>ふくしん夢の音楽堂（福島市音楽堂）/働く婦人の家/勤労青少年ホーム                  所在地：福島市入江町（築35年）</p> <p>【現況】 《市民文化系施設/産業系施設》                  建物：地上3階・地下1階（SRC造）/延床7,786㎡/合築                  機能：①（音）：音楽ホール（1,002席）ほか/年15万人利用                  ②（働）：講習室等4室/年2.3万人利用                  ③（勤）：談話室等6室/年3.5万人利用</p>
	<p>草心苑 所在地：福島市仲間町</p> <p>【現況】 《社会教育系施設》                  建物：地上2階（木造）/延床226㎡/寄附物件                  機能：①茶室等6室                  ②年約4千人利用                  ③駐車台数4台</p>
	<p>古関裕而記念館 所在地：福島市入江町（築31年）</p> <p>【現況】 《市民文化系施設》                  建物：地上2階（RC造）/延床656㎡/②に集約配置                  機能：①名誉市民で作曲家・古関裕而の資料の収集・保存・展示等を目的とした施設                  ②展示室ほか/年1.5万人利用</p>
	<p>キョウワグループ・テルサホール（福島テルサ） 所在地：福島市上町（築25年）</p> <p>【現況】 《市民文化系施設》                  建物：地上6階・地下1階（SRC造）/延床9,649㎡                  機能：①ホール（473席）、楽屋、会議室等14室                  ②年14万人利用                  ③福島駅徒歩圏に立地</p>



産業交流プラザ（コラッセふくしま内） 所在地：福島市三河南町（築17年）



【現況】 《産業系施設》  
 建物：地上13階・地下1階（S造）/市延床1,518㎡  
 県・市区分所有施設/図書館分館併設  
 機能：①展示室（288㎡）、レンタルオフィス、会議室等8室  
 ②年9万人利用/福島駅徒歩圏に立地

こむこむ館 所在地：福島市早稲町（築14年）



【現況】 《子育て支援系施設》  
 建物：地上4階・地下1階（SRC造）/延床9,886㎡/合築  
 （NHK福島放送局）/図書館分館併設  
 機能：①ホール（296席）、学習室、展示室等13室  
 ②年27万人利用/福島駅徒歩圏に立地

御倉邸 所在地：福島市御倉町（築93年）



【現況】 《公園施設》  
 建物：地上1階（木造）/延床404㎡/旧日銀支店長役宅  
 機能：①和室、洋室等6室  
 ②年2万人利用/福島駅1km圏に立地

写真美術館/市民ギャラリー 所在地：福島市森合町/福島市置賜町（築96年/築45年）



【現況】 《市民文化系施設》  
 建物：(写)地上2階（石造）/延床404㎡/震災後休館  
 (市)地上3階（RC造）/延床844㎡  
 機能：①(写・市)ギャラリー等  
 ②(写)年1.6万人（※H20）/(市)年8千人  
 ③(市)福島駅徒歩圏に立地

アクティブシニアセンター・アオウゼ 所在地：福島市曾根田町（※民間所有 築20年）



【現況】 《市民文化系施設》  
 民間建物：地上6階（S造）/複合ビル（商業・公共）  
 市借用5,684㎡（全体58,239㎡）  
 機能：①ホール（403㎡）、活動室、和室等12室  
 ②年60万人入館  
 ③福島駅徒歩圏に立地

11～12 略

産業交流プラザ（コラッセふくしま内） 所在地：福島市三河南町（築17年）



【現況】 《産業系施設》  
 建物：地上13階・地下1階（S造）/市延床1,518㎡  
 県・市区分所有施設/図書館分館併設  
 機能：①展示室（288㎡）、レンタルオフィス、会議室等8室  
 ②年9万人利用/福島駅徒歩圏に立地

こむこむ 所在地：福島市早稲町（築14年）



【現況】 《子育て支援系施設》  
 建物：地上4階・地下1階（SRC造）/延床9,886㎡/合築  
 （NHK福島放送局）/図書館分館併設  
 機能：①ホール（296席）、学習室、展示室等13室  
 ②年27万人利用/福島駅徒歩圏に立地

御倉邸 所在地：福島市御倉町（築93年）



【現況】 《公園施設》  
 建物：地上1階（木造）/延床404㎡/旧日銀支店長役宅  
 機能：①和室、洋室等6室  
 ②年2万人利用/福島駅1km圏に立地

写真美術館/市民ギャラリー 所在地：福島市森合町/福島市置賜町（築96年/築45年）



【現況】 《市民文化系施設》  
 建物：(写)地上2階（石造）/延床404㎡/震災後休館  
 (市)地上3階（RC造）/延床844㎡  
 機能：①(写・市)ギャラリー等  
 ②(写)年1.6万人（※H20）/(市)年8千人  
 ③(市)福島駅徒歩圏に立地

アクティブシニアセンター・アオウゼ 所在地：福島市曾根田町（※民間所有 築20年）



【現況】 《市民文化系施設》  
 民間建物：地上6階（S造）/複合ビル（商業・公共）  
 市借用5,684㎡（全体58,239㎡）  
 機能：①ホール（403㎡）、活動室、和室等12室  
 ②年60万人入館  
 ③福島駅徒歩圏に立地

11～12 略